

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成28年6月10日

【事業年度】 第62期（自平成26年10月1日至平成27年9月30日）

【会社名】 株式会社大森屋

【英訳名】 OHMORIYA Co., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 稲野龍平

【本店の所在の場所】 大阪市福島区野田4丁目3番34号

【電話番号】 (06) 6464 - 1198 (代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 中田 勝

【最寄りの連絡場所】 大阪市福島区野田4丁目3番34号

【電話番号】 (06) 6464 - 1198 (代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 中田 勝

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年12月21日に提出いたしました第62期（自平成26年10月1日 至平成27年9月30日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【注記事項】

(退職給付関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
決算年月	平成23年 9月	平成24年 9月	平成25年 9月	平成26年 9月	平成27年 9月
売上高 (千円)					16,280,915
経常利益 (千円)					69,308
当期純損失() (千円)					8,086
包括利益 (千円)					6,996
純資産額 (千円)					9,606,885
総資産額 (千円)					12,048,315
1株当たり純資産額 (円)					1,893.90
1株当たり当期純損失() (円)					1.59
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)					
自己資本比率 (%)					79.7
自己資本利益率 (%)					0.1
株価収益率 (倍)					600.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)					1,594,151
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)					176,502
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)					102,267
現金及び現金同等物 の期末残高 (千円)					1,077,460
従業員数 (外、平均臨時 雇用者数) (人)	()	()	()	()	128 (222)

(注) 1 第62期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載していません。

(訂正後)

回次	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
決算年月	平成23年 9月	平成24年 9月	平成25年 9月	平成26年 9月	平成27年 9月
売上高 (千円)					16,280,915
経常利益 (千円)					69,308
当期純損失() (千円)					8,086
包括利益 (千円)					24,629
純資産額 (千円)					9,606,885
総資産額 (千円)					12,048,315
1株当たり純資産額 (円)					1,893.90
1株当たり当期純損失() (円)					1.59
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)					
自己資本比率 (%)					79.7
自己資本利益率 (%)					0.1
株価収益率 (倍)					600.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)					1,594,151
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)					176,502
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)					102,267
現金及び現金同等物 の期末残高 (千円)					1,077,460
従業員数 (外、平均臨時 雇用者数) (人)	()	()	()	()	128 (222)

- (注) 1 第62期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前については記載しておりません。
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【注記事項】

(退職給付関係)

2. 確定給付制度

(訂正前)

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	当連結会計年度 (自 平成26年10月1日 至 平成27年9月30日)
退職給付債務の期首残高	443,668千円
会計方針の変更による累積的影響額	12,465千円
会計方針の変更を反映した期首残高	431,203千円
勤務費用	21,124千円
利息費用	4,028千円
数理計算上の差異の発生額	21,253千円
退職給付の支払額	34,476千円
退職給付債務の期末残高	443,133千円

(省略)

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	当連結会計年度 (自 平成26年10月1日 至 平成27年9月30日)
勤務費用	20,740千円
利息費用	4,028千円
期待運用収益	3,964千円
数理計算上の差異の費用処理額	10,983千円
確定給付制度に係る退職給付費用	31,786千円

(訂正後)

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	当連結会計年度 (自 平成26年10月1日 至 平成27年9月30日)
退職給付債務の期首残高	443,668千円
会計方針の変更による累積的影響額	12,465千円
会計方針の変更を反映した期首残高	431,203千円
勤務費用	21,124千円
利息費用	4,028千円
数理計算上の差異の発生額	21,253千円
退職給付の支払額	34,476千円
退職給付債務の期末残高	443,133千円

(注) 簡便法を適用した制度を含んでおります。

(省略)

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	当連結会計年度 (自 平成26年10月1日 至 平成27年9月30日)
勤務費用	21,124千円
利息費用	4,028千円
期待運用収益	3,964千円
数理計算上の差異の費用処理額	10,983千円
確定給付制度に係る退職給付費用	32,170千円

(注) 簡便法を適用した制度を含んでおります。